

- 研究成果発表会のご案内
- 飛驒の家具®フェスティバル 参加報告
- 技術紹介 国産未活用広葉樹材の
利活用に向けた取り組み

岐阜県生活技術研究所は
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています

研究成果発表会のご案内 | 多数の参加をお待ちしております

生活技術研究所 講演会及び研究成果発表会

日時 令和7年9月16日(火)
13:50~16:00
場所 岐阜県生活技術研究所 3階研修室
定員 30名
参加費 無料
申込方法 下記URLもしくは二次元コードより
お申し込みください
<https://logoform.jp/f/ZbB7c>
申込締切 令和7年9月10日(水)



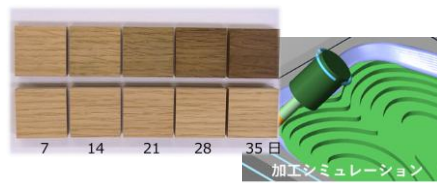
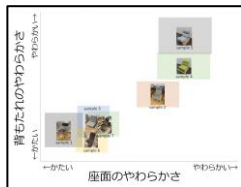
●基調講演

オフィス・店舗等の非住宅分野への内装木質化の動向とその効果について

講師 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
杉山 真樹 氏

●生活研成果発表

- ①早生樹等の国産未活用広葉樹材を家具・内装材として利用拡大するための技術開発
- ②地域材利用に向けた曲げ木工程条件の提示
- ③製品提案プロセスのデジタル化を目指したクッションの触感の可視化
- ④その他研究のご紹介



2025飛驒の家具®フェスティバル参加報告 | ご来場ありがとうございました

令和7年7月2日(水)から7月6日(日)に開催されました、「2025飛驒の家具®フェスティバル」へ生活技術研究所としてブースを出展いたしました。今年の飛驒の家具®フェスティバルは「JAPAN FURNITURE MONTH 2025」の一環として、開催時期が秋から夏へと改められました。会期中は多数の来場者の方々がブースを訪れ、当所が展示した早生樹等の国産材試作品や、カビ要因によるオーク突板材の変色抑制技術について、質問や取材をしていただきました。



生活研ブース

技術紹介：国産未活用広葉樹材の利活用に向けた取り組み

生活技術研究所では、令和4年度から6年度において森林総合研究所をはじめとする全国の試験研究機関と共同で、研究課題「早生樹等の国産未活用広葉樹材を家具・内装材として利用拡大するための技術開発」に取り組んでまいりました。本研究では、未活用広葉樹材のうち地域において家具・内装材として有望視されている、センダン、ハンノキ、ホオノキ、コナラについて、各種物理特性の解明や乾燥手法の検討、製品とするうえで必要な品質評価手法の検討、異樹種複合技術の開発などについて取り組みました。

その成果の一部として、下記二種のパンフレットを作成しました。内容は下記の森林総合研究所のリンクから閲覧可能です。また、印刷物については、生活技術研究所にて配布しておりますのでお気軽にお声がけください。（部数に限りがあります）



○センダン ホオノキ ハンノキ コナラの利用に向けて

—材質 物理 加工 乾燥特性—

上記四樹種について、密度・曲げ強さ・加工特性・乾燥特性などについて本研究で用いたサンプルを基に評価した結果を掲載

○センダン板材のグレーディングの試み

—国産広葉樹板材の流通に向けて—

センダンをモデルケースとして、板材供給者と需要者が取引の際に利用できる共通の品質基準としての試案を作成した実証実験の結果を紹介

早生樹等の国産未活用広葉樹材を家具・内装材として利用拡大するための技術開発

...生物系特定産業技術研究支援センター

「イノベーション創出強化研究推進事業(JPJ007097)」(課題番号04012B2)の支援により実施

研究代表機関 森林総合研究所

共同研究機関 山形県工業技術センター、福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター
飛騨産業株式会社、岐阜県生活技術研究所

研究の詳細については下記webページにて紹介しています。

<https://www.fffri.go.jp/research/project/sendan.html>

(森林総合研究所webページへのリンク)